

セミナー概要資料

セミナーID jsej-0866		
2021年度海運実務研修講座 2 「内航海運概論(全1日)」 2020年度海運実務研修講座 25 「内航海運概論(全1日)」 日本の産業と国民生活を支える輸送システム		
日時	2021年4月9日(金曜日)13:30~16:45(途中休憩有) 2021年1月15日(金曜日)13:30~16:45(途中休憩有)	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:11,000円(税込) 非会員:22,000円(税込) ※資料代含む。	
定員	24名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル対象	入門	
講師	流通科学大学 商学部 教授 森 隆行 氏	
略歴	1975年大阪市立大学商学部卒業、大阪商船三井船舶株式会社(現・株式会社商船三井)入社。1990年大阪支店輸出部輸出2課長。1992年広報室広報課長。1994年営業調査室課長。1996年AMT freight GmbH(出向)社長。2001年丸和運輸機関(出向)海外事業本部長。2004年株式会社商船三井営業調査室主任研究員。2006年商船三井退職、流通科学大学商学部教授。 著書『海上物流を支える若者たち』(海文堂)、『水先案内人』(晃洋書房)、 『第3版 現代物流の基礎』(同文館)、『新訂・外航海運概論』(成山堂) 共著『モーダルシフトと内航海運』(海文堂)、『e-shipping 外航海運業務の電子化』(海文堂) 『内航海運』(晃洋書房)、『コールドチェーン』(晃洋書房)ほか	
概要	内航海運は、国内物流の約4割を担い、鉄鋼、石油、セメントなど産業基礎資材の約8割の輸送を担っています。また、近年では災害に備えた物資輸送でも注目されています。また、日本経済が一定規模を維持していく上でも内航海運は、重要な未来ある産業です。 本講座では、外航海運との比較により内航海運の特徴を認識した上で、より活力ある産業となるため、船員不足や環境問題などをはじめとした諸課題の解決策を検討します。 内航業界の次世代を担う若手社員や内航との関わりの強い物流業界の新人の方にお勧めです。	
内容	前半	内航海運の現状と役割 1.内航船の役割 2.内航海運業界の現状 3.内航海運と外航海運の違い 4.内航海運の市場構造 5.船舶管理(オーナー、オペレーター、船舶管理会社)
	後半	内航海運の抱える課題と課題解消への取り組み 6.内航海運の課題と取り組み 7.内航海運の新たな取り組み 8.第4次産業革命と内航海運 9.まとめ 《附》「内航海運・フェリー業界の現状と課題」